

## これで女性は輝けるのか!?

第2次安倍内閣発足以来、安倍首相は「女性活躍推進」を世界各地で触れまわり、9月には国連総会で「日本はいま女性の社会参加を一気に増やそうと、政府、民間挙げて、山積する課題を解く努力を始めました。」と語った。本気なのか??だが、8月に始まった「女性の活躍推進に向けた新たな法的枠組みの構築」の労働政策審議会雇用均等分科会は9月30日建議10月7日には民間部門の法案要綱が確認された。これは女性登用にに向けたポジティブ・アクション法でまだ柱が立っただけ。詳細は「事業主行動計画策定指針」にゆだねられる。

少しでも役立つ法律にするかは今後の女性たちの闘いにかかっている。そして10月10日政府は「すべての女性が輝く社会づくり本部」を本部長を首相として発足させ、「すべての女性が輝く政策パッケージ」が確認された。個々には「働く女性の処遇改善プランなどを策定し、非正規社員の処遇改善や正社員化を支援」、「長時間労働抑制の取組」とかの文字はある。でも本気か?と疑念が消えない。

本気ならどうして生涯派遣に道を拓く派遣法大改悪案をこの臨時国会で審議するの!、「時間でなく成果で評価

する」残業代ゼロ・過労死促進法(ホワイトカラーエグゼンプション)や解雇の金銭解決の法制化を求めている!、に答えてほしい。女性は今でも十分活躍している、そこに伴わないのは賃金だ。政策パッケージにも活躍促進法にも「賃金」と言う言葉がない。今必要なのは女性労働に対する正当な評価であり対価だ。

## 全労協第26回大会

### 来年はもつと女性の参加を増やそう!!

9月21日と22日、熱海で第26回大会が開催された。女性代議員の参加は8人とまだ少ないが、2日間の24人の発言中3人が女性だった。

労契法20条裁判を闘う東部労組メトロコマース支部・疋田さんからは我慢の限界で5月1日の提訴があり、9月の法廷で会社が正規の賃金体系を明らかにしてきたこと、11月22日大集会への参加要請があった。

職業病解雇と闘う全国一般東京労組NTT分会・木下さんからは団体署名をきっかけに福島みずほ議員を介して厚労省・総務省と面談が実現したこと、

大阪全労協の大椿さんからは安倍の女性活躍推進について外国人家事支援人とは家事は女の仕事と思っていること、家事支援人まで受け入れて長時間働けということの問題指摘がなされた。夕食交流会では、物品販売で参加のJAL原告団も含め全員がひと言を披露、楽しい交流の場となった。今大会では青年委員会の発足が確認され、この秋にも活動を開始する。大会は脱原発、沖縄と連帯し護憲・平和、労働の3決議と大会宣言を確認し、新執行部を選出して終了した。



大会で裁判や闘争の報告をする疋田さん

### 第24回女性委員会総会

日時 11月28日(金) 18:30~  
場所 港区立神明プラザ  
(港区浜松町1-6-7)  
軽食を準備しますので、予めご連絡をお願いします。  
(会費1000円)  
交通機関  
JR浜松町駅北口より 徒歩4分  
都営地下鉄 大門駅 A2出口より 徒歩3分、B1出口より徒歩4分



特集：女たちが緊急検証「安倍の女性活躍法」  
女性が輝くためには「早く男を家に帰せ！」  
~レイバーネットTVで榎木康子さん

### 10月8日 雇用共同アクションがパソナ前行動

派遣法の大改悪を主導するのが産業競争力会議などに参加する(株)パソナ会長の竹中平蔵氏だ。

竹中氏は慶応大学教授として委員に参加しているが、その結果は派遣業界の要求の実現につながっている。まさに一人二役である。こんな勝手を許せないと雇用共同アクションは8日の昼、東京駅近くにあるパソナ本社前で宣伝行動。

横断幕、のぼり旗もカラフルでリレートークあり、替え歌ありの賑やかな行動となり、ビラの受け取りも良かった。この行動は10月7日のディーセント・ワーク世界行動デーの一環でもあった。(Y)



東京・大手町にあるパソナ本社前で宣伝行動(10月8日)



川内原発再稼働するな！フクシマを忘れない！9・23さようなら原発  
全国大集会が都内亀戸中央公園で開かれ、16000人が参加。

# フジビ闘争2年！ 9・18決起集会

2000人の仲間が結集し、  
地域デモに沿道から激励の声  
富士美術印刷（フジビ）と田中一族に  
よる子会社偽装倒産と全員解雇・組合つ  
ぶし攻撃との闘いは9月14日で2年を経  
過した。

その直後の9月18日、本年1月結成の  
フジビ闘争支援共闘会議が主催の決起集  
会がフジビ会長自宅前の田端台公園にて  
行われた。

集会は荒川区労評・関根事務局長の司  
会により会長自宅へのシュプレヒコール  
で始まり、支援共闘会議・久保議長は挨拶  
で「地域で中心的に闘っているフジビ  
闘争は重要局面にある。早期の勝利的解



北区田端台公園で集会を開き、デモ行進をした（9月18日）

## 私のお気に入り

50年近い歳月を経てなお目蓋に甦る光景がある。私の半生を貫く感性を目覚めさせてくれた経験。

18歳で故郷鹿児島から東京へ出た。国鉄鹿児島本線は、途中駅で上下列車が互いに行き交う単線だ。

大学の春休みに帰省する下り列車が漸く両親の待つ鹿児島に近づき、上りとすれ違う駅に停車した時。

向い側の上り列車の車窓に、涙を拭く女の子たちを見て私は胸を衝かれた。「集団就職列車」だ。親の脛かじりで進学し休みに帰省する私と、あの子たちと。自分は単に環境に恵まれただけで、私が偉い訳じゃない。

この感性を忘れずに生きているだろうかと自問する。

いま振り返って思うのは、この国の復興も高度経済成長もみんなこの沢山の人が支えたからこそ成し遂げられたものだ。

ところが、機会に恵まれ権力や金銭的な豊かさを享受し占有しようとする人々が、他者を尊厳ある人間として扱わず差別し見下す。

目先の自己利益の為なら平気で真実をねじ曲げて嘘をつく。

労働委員会の審問や裁判傍聴の中でいつも目にする姿。あの“Completely Controlled!”も然り。

「あなたも私も同じ人間なんだよ。」

これほど私たちを強く支え、幸福にしてくれる真理はない。

(海技協労 圓山節子)



## 川内原発再稼働反対鹿児島集会参加 & 原発構内を見学し所長あて要請文書を手渡す



九州電力川内原発の再稼働が取りざたされている中、反原労（反原発労働者実行委員会）が川内原発の再稼働反対の所長要請行動を企画し、総勢12人で行きました。

ちょうど鹿児島で反原発集会が開催され、全労協のメンバーと共に集会・デモに参加しました。

集会は鹿児島県内外から7500人もの方が参加する大集会となりました。直前の御嶽山の噴火で、原子力規制委の審査の問題点が現実のものとして明らかになった中、再稼働は許さないと声をあげました。繁華街でのデモは、通りがかりの人々が、福島「希望の農場」で飼われている白い斑点が出た牛の写真を食べるように見つめていました。

翌日、川内原発構内を見学。再稼働に向けたハード面の整備が着々と進められている現状が見て取れました。

その後、広報担当者とは会談し、10項目に渡る要請文書を手渡し、再稼働をしないように要請しました。郵便も届くという「脱原発川内テント」へも訪問し、短い時間でしたが交流し、激励をしてきました。

反原労：1979年米スリーマイル島原発で燃料溶融事故が起き、原発の安全神話が崩れたあと、霞ヶ関近くに働く石油労働者を中心に立ち上げ活動が続いている。

全石油スタンダード労組 佐藤かおり

決をめぐりしてフジビの親会社責任をキツキツ取り戻させる」と決意表明が行われた。集会には支援共闘を始め約2000名の支援の仲間たちも結集し、集会後にはフジビ社前にむけた地域デモが敢行された。沿道の商店から「田中一族の横暴に負けるな！」とデモ隊に激励の声援も掛けられた。

地域では有名な資産家であるフジビ創業家フジビ闘争勝利に向け大きな一歩を  
8月末に労働委員会が示した和解の検討要望を受けて、地域内外からフジビ経営の態度に注目が集まっている。10月6日の東京総行動では百名の仲間たちとフジビ構内で抗議集会を行った。  
当該組合員は支援共闘会議と共に闘争勝利に向け奮闘している。  
(全国一般東京労組フジビグループ分会)